

平成28年1月8日

保護者 各位

喜多方市立山都小学校長 菊地 誠

かぜ・インフルエンザ予防の協力について

3学期が始まりました。これからが本格的なインフルエンザ流行の時期です。お子さんがインフルエンザやかぜを予防することができるよう、学校でも下記のように指導をしていきますので、ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

学校では

- かぜやインフルエンザの主な感染経路は、飛沫感染です。そのため、かぜをひいている児童には必ずマスクを着用させたいと思います。また、1名でもインフルエンザり患者が出た学級やかぜひき児童が30%を超える学級には、全員にマスクを着用させます。つきましては、ご家庭で使い捨てマスクの準備をお願いします。

「咳エチケット」を守りましょう

- ◆ 咳・くしゃみが出るときは、他の人にかぜをうつさないためにマスクを着用する。マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで鼻と口をおさえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れる。
 - ◆ 鼻水・痰などが付着したティッシュはすぐにゴミ箱に捨てる。(ゴミ箱はふた付きが望ましい)
 - ◆ 咳をしている場合はマスクを着用する。
- ※ マスクは、薬局などで市販されている不織布製のものが推奨される。

- お茶うがい及び石けんでの手洗い、アルコール消毒を行います。
休み時間や給食前、体育や清掃の後などに、お茶を使ってうがいを行わせます。水筒やペットボトルにお茶を入れ、毎日持たせてください。毎日持ち帰ります。
石けんを使っての手洗いも随時実施しますので、毎日清潔なハンカチを持たせてください。その後アルコール消毒も行います。
- 教室の換気を適切に行い、適切な温度と湿度を保つようにします。
廊下からの出入り口の天窓はいつも10cm以上あけ、休み時間には窓を開けて換気を行います。教室内の温度は18～20℃、湿度は40%以上保つようにします。

家庭では

- 体力と抵抗力が高まるように、日頃から十分に休養と栄養をとり規則正しい生活をさせましょう。
- インフルエンザ流行の時期は、なるべく人混みへの外出は避けましょう。
- 38℃を超える急な発熱、咳、喉の痛み、悪寒、頭痛、筋肉痛、下痢などの症状があれば、無理をせず学校を休み、医療機関を受診するようにしてください。